

海上の森自然観察会

テーマ 早春の花をさがしてみよう

日時 2月16日(土)10:00~14:00(晴)

参加者 一般3、指導員8

立春も過ぎて暦のうえでは春になっていますが、思いのほか寒く、風のある日になりました。水たまりには氷が張り、地面には霜柱が立ち、笹の葉の先についた水滴も凍っていました。それでも、この観察会は昨年雨にたたられたことが多かったことを思うと、前日の雨が上がりラッキーといわなくてはなりません。

この時期の花というと、まずマンサクです。でも、今日の気温と風を考えると、尾根筋を歩いて三角点から湿地方面へのコースは行きづらいので、集合場所の駐車場手前の道路脇でマンサクの花を観察しました。公園などに植えられているシナマンサクの花と比べると、豪華さでは負けますが、素朴な自然の趣が感じられます。ここには数本のマンサクがありますが、いずれも花の付きは多くありませんでした。

今日のコースは四ツ沢から左に入り、篠田池方面に向かいました。途中、カケスが鳴きながら飛び、ここで増えていると言われるソウシチョウの声も聞きました。初めて声を聞いたという人もいて、姿を見たいと言われましたが、出てきませんでした。じっくり姿が見られたのは、イタドリ枝に止まり、そこでしばらくの間実をついばんでいたウソのメスです。

篠田池ではオシドリかカイツブリが見られるかと期待していましたが、あいにくと何もいませんでした。サテライト方面に向かう途中、ヒガラを観察しました。今期はたくさん来ているようです。また、咲き始めたアセビやヤブツバキの花を見かけました。クロモジの蕾も膨らみ春の近さが感じられます。

サテライトでの昼食の後、モズやジョウビタキを見ていると、上空にノスリが現れ、何かを見つけたらしく急降下していきました。陽だまりに咲いていたオオイヌノフグリの青い花をじっくりと見て、4枚に見える花卉の形が同一でないことを確認しました。

午後になって風が強まり、一段と寒さが感じられるようになり、速足で駐車場に向かいました。天気の良いか、鳥の姿も声も少なかったようです。来月はいろいろな花が咲いていることを期待して、解散しました。(報告:齋竹善行)



(観察会のようす)



(クロモジの花芽と葉芽)

<観察できたもの>

野鳥:アオジ、シジュウカラ、ハシブトガラス、カケス、ウソ、クロジ、ヒガラ、ヒヨドリ、キジバト、ジョウビタキ、モズ、イカル、キセキレイ、コゲラ(声)、ソウシチョウ(声)

花:マンサク、アセビ、スズカカンアオイ、ヤブツバキ、サザンカ、オオイヌノフグリ、サクラバハノキ(雄花の名残)

蕾:オオカメノキ、ショウジョウバカマ、クロモジ、ヤマウグイスカグラ